



# 競技場のバリアフリーについて



**木島 英登**  
木島英登バリアフリー研究所

## 1. 理想のデザインとは？

競技場に車いす席があったとしても、それが利用しにくいものであれば二度は行かない。そうした悪いデザインの最たるものが、通路が前にある席。従来のスタンドの一部を切り取って、後付けで車いすスペースを作る場合である。また、サイトライン（視界）が確保されず、ピッチが見にくいことや、前方の通路を人が通って見にくいこともある。その失敗例が長居スタジアムと札幌ドーム。長居は苦情を受け、一部を迫り出し式に変更。札幌は通路に座るように変更された。

車いす席を前方に迫り出して設置する場合、後ろに座る一般席のお客さんが見えにくくなる問題が発生する。阪神甲子園球場、明治神宮野球場、ノエビアスタジアム神戸がこれに該当する。また、出入口付近、主動線の通路に車いす席を設置するのも良くない。立ち見客の乱入、観客の滞留、応援団によるスペース占拠などが発生する。日産スタジアムが典型例。せっかく作った車いす席が客だまりとなり使われていない例も多い。

以上のことから、車いす席はスタンド最前列か、最後列の設置が適切である。可能な限り複数のエリアに、車いす席が設けられるのが理想であることは言うまでもない。

1階席の最後列を車いす席にするのが世界的潮流である。前方の客が立ってもピッチが見えることが大前提。こうした点から豊田スタジアムは失敗例である。車いす席の数だけは多いが、前が立つと見えなくなるし、2階席のコンクリートが上部に迫り、ビジョンの半分が見えない、空が見えない。雨に濡れないという利点があるが、開放感がなく圧迫感があり、そのようなスタジアムは観客もいない。

## 2. 座席数と価格

2014年10月、カナダ・モントリオールで開催された国際会議 Destination for All の発表でスタジアムの車いす席についてのものがあった（写真）。トロント・パンアメリカ

ンゲームズ2015では、車いす席は3%、enhanced seat（体が大きい人のための拡張座席）を含めて5%であるとしていた。日本では、1万席に対し10席。0.1%ぐらいの感覚しかない。衝撃を受けた。

問題が噴出している新国立競技場。最初の設計案の車いす席は、120席。8万人収容なので0.15%であった。場所も1階席のゴール裏のみ。目眩がした。IOC（国際オリンピック委員会）の指針では0.75%以上、パラリンピックでは、1%以上の車いす席の設置が求められ、400～800席（0.5～1%）に変更すると発表されたが、建設費用と同じく、お粗末である。ちなみに日本のバリアフリー法では、競技場へのアクセス保障は求められるが、車いす席の設置義務や具体的な数値目標はない。

車いす席の設置にどうして差が出るのか？ その理由の一つは優遇にあると考える。車いす席が少ない場合は、無料や優遇が多い。そのことは調査からも明らかになっている。

プロ野球、Jリーグ、米国メジャースポーツ、欧州サッカーのスタジアム状況を調べてみた（表1～4）。調査時期は'15年5月である。

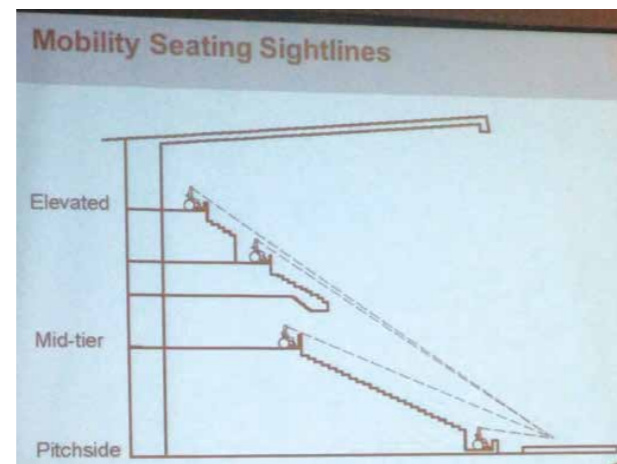


写真 出典 Accessible customer service: How Ontario's accessibility laws will enhance the visitor experience and create a welcoming environment for the 2015 Pan/Parapan American Games. 発表者 Alfred Spencer, Accessibility Directorate of Ontario, Ministry of Economic Development, Trade and Employment, Canada.

## 3. 各種事例の比較

### (1) 日本プロ野球の場合

表1および2の通り、日本を代表するプロスポーツ、プロ野球の会場である東京ドームは車いす席が12しかない。収容人員に対して0.03%である。位置も内野コンコース、ポール際で、立見席と一緒の場所で見づらい。価格は、2,500円と通常3,900円のエリアなので安い設定になっているが、すぐ隣の外野席は2,200円である。

高校野球も開催される阪神甲子園球場は、'10年の改修で車いす席が31に増加した。設置割合にすれば、0.07%と決して高くないが、全エリアに車いす席があるため、多様な選択肢があるのは良い。利用者も多い最寄り駅は従来、階段だけであったが、ようやくエレベーターが設置され、アクセスも改善した。

日本で最も優れたバリアフリーの野球場は、広島市のマツダスタジアムである。メジャーリーグを参考にコンコースを広く取り、回遊性を高め、車いす席はそのコンコースを

表1 プロ野球本拠地球場における車いす席の設置状況

プロ野球	座席数	車いす席	割合
読売ジャイアンツ	45,600	12	0.03
阪神タイガース	47,541	31	0.07
広島カープ	30,350	142	0.47
ヤクルトスワローズ	34,572	14	0.04
横浜ベイスターズ	27,686	6	0.02
中日ドラゴンズ	38,414	20	0.05
ソフトバンク	38,561	36	0.09
北海道日本ハム	40,476	64	0.16
東北楽天	28,736	43	0.15
千葉ロッテ	30,082	8	0.03
埼玉西武ライオンズ	29,860	12	0.04
オリックス	36,146	8	0.02
平均			0.10

表2 プロ野球本拠地球場における車いす席の価格対比

プロ野球	車いす席の位置	価格	介助者
読売ジャイアンツ	ポール際	0.6	同じ
阪神タイガース	全エリア	0.8	同じ
広島カープ	ほぼ全エリア	0.6	同じ
ヤクルトスワローズ	内野と外野で4ヵ所	1.0	同じ
横浜ベイスターズ	1ヵ所 一塁ベンチ上	0.4	通常
中日ドラゴンズ	3F 1塁側と3塁側	0.6	同じ
ソフトバンク	ポール際最後列など	0.6	同じ
北海道日本ハム	内野中段部	0.3	同じ
東北楽天	ほぼ全エリア	1.0	無料
千葉ロッテ	バックネット裏	0.3	通常
埼玉西武ライオンズ	3塁側最後列	0.8	同じ
オリックス	内野専用席とコンコース	1.0	同じ

※価格とは、車いす席と同じエリアの一般席との価格差のこと  
※介助者料金は、車いす席と同じ、通常料金、無料と3つに分かれる

中心に全エリアに142が配置されている。割合は0.47%。専用駐車場（2,000円/1日）もある。パーティ席なども車いすアクセス可能。情報公開も素晴らしい。

'02年サッカーW杯の会場でもある札幌ドームは、内野スタンド64席、外野スタンド48席、内野VIP3席、スイートシート2席、合計117席の設計だが、現在は内野席64しか開放していない。せっかくの車いす席が作られても、すべてが使われないという事例は地方に多い。

仙台市の楽天コボスタ宮城は、全エリアに43席と多くなっており、価格は一般席と同額。プロ野球では珍しい介助者無料、駐車場も無料で用意される。サービスや設備はメジャーリーグの良い点を見習っている。

プロ野球の車いす席のチケット価格で特徴的なのは、多くで割引価格を適用していることである。座席数の少ない球団では、電話予約のみや情報開示が少なく、チケット購入が面倒なことが多い。介助者の料金は、車いす席と同じことが多く、Jリーグでよくみられる介助者無料は一つもない。座席位置がとても良い横浜スタジアム、QVCマリンフィールドでは、介助者料金は高価なエリアの通常料金となっている。

### (2) Jリーグの場合

Jリーグからは12のチームを抽出した（表3および4）。'02年日韓ワールドカップ開催も影響してか、全体としてプロ野球よりも、かなり多い車いす席の設置割合である。

リーガーの集客を誇る浦和レッズのホームでは、メイン・バック1階席の中段コンコースに車いす席が設置されている。駐車場の確保、介助者無料もあつたか、利用者が多く、車いす席は完売することも多い。ベガルタ仙台は、96席あるが、ゴール裏は使わず、実際にはメインスタンドしか開放していない。札幌ドームと同じような運営になっており、せっかくの設備が使われていない。ガンバ大阪は、'16年

表3 J1リーグ開催競技場における車いす席の設置状況

Jリーグ	座席数	車いす席	割合
浦和レッズ	63,700	150	0.24
鹿島アントラーズ	38,908	140	0.36
FC東京	49,970	394	0.79
横浜Fマリノス	72,327	110	0.15
アルビレックス新潟	42,300	104	0.25
ベガルタ仙台	19,694	96	0.49
川崎フロンターレ	27,495	54	0.20
セレッソ大阪	47,816	64	0.13
ガンバ大阪	21,000	12	0.06
松本山雅	20,000	80	0.40
平均			0.31



表4 J1リーグ開催競技場における車いす席の価格対比

Jリーグ	車いす席の位置	価格	介助者
浦和レッズ	メイン、バック中段	70	無料
鹿島アントラーズ	バック最前列	60	無料
FC東京	全エリア、専用席はメイン	100	無料
横浜Fマリノス	全エリア 2階席は無し	100	無料
アルビレックス新潟	ほぼ全エリア	60	無料
ベガルタ仙台	メインスタンドのみ開放	100	無料
川崎フロンターレ	メインとバック	100	無料
セレッソ大阪	メインとバック	50	無料
ガンバ大阪	メインの良い位置	50	同じ
松本山雅	メインとバック	100	無料

に新スタジアムが完成する予定。コンコースに車いす席の設置が最大400となり、1.0%の設置割合を有する国際標準に生まれ変わる。なお、現在のスタジアムは12席。FC東京の味の素スタジアムは車いす席が多いが、常設の車いす席は裏口通路からのアクセスとなり自由度が低い。一般トイレもコンコースから階段があり評判は悪い。

Jリーグの車いす席の価格は、複数エリアに座席があるときは一般と同じ料金。1カ所るときは、スタジアムでの最低価格の料金設定が多い。また介助者が無料なことが多い。チケットも専用電話予約でなく、インターネットやコンビニなどで普通に購入できるところが多い。調査対象外のJ2リーグなど地方では、障害者を無料招待している場合もある。ただし事前予約が必要で、現地当日券を購入できないこともある。

### (3) アメリカプロスポーツの場合

一方、アメリカのスタジアムは、車いす席がとて多い

表5 アメリカプロスポーツ施設における車いす席の設置状況

アメリカ	座席数	車いす席	割合
NYヤンキース	50,086	506	1.01
テキサス・レンジャース	49,115	475	0.97
インディアナポリス・コルツ	63,000	1,200	1.90
シアトル・シーホークス	67,000	1,400	2.09
ヒューストン・ロケッツ	18,300	159	0.87
デンバー・ナゲッツ	19,155	298	1.56
平均			1.40

表6 アメリカプロスポーツにおける車いす席の価格対比

アメリカ	車いす席の位置	価格	介助者
NYヤンキース	全てに有り	100	同じ
テキサス・レンジャース	全てに有り	100	同じ
インディアナポリス・コルツ	全てに有り	100	同じ
シアトル・シーホークス	全てに有り	100	同じ
ヒューストン・ロケッツ	全てに有り	100	同じ
デンバー・ナゲッツ	全てに有り	100	同じ

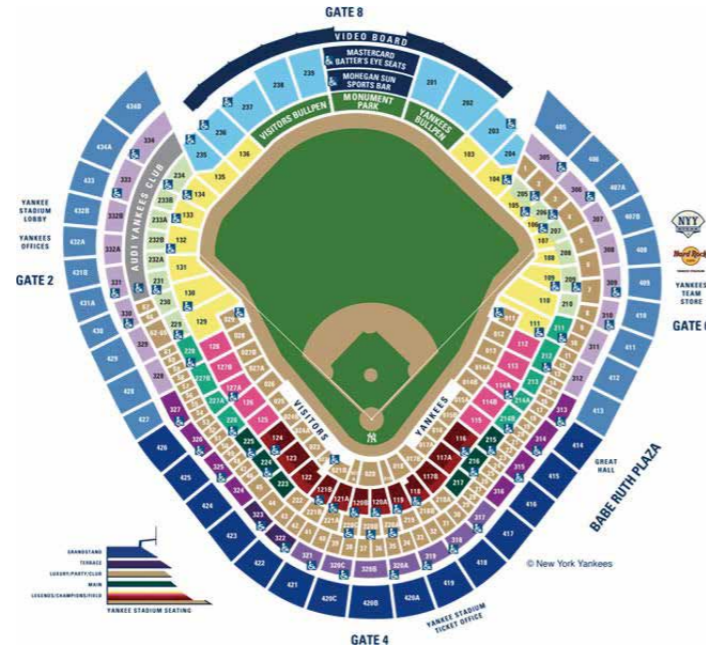


図1 ヤンキースの車いす席配置状況(球団HPより)

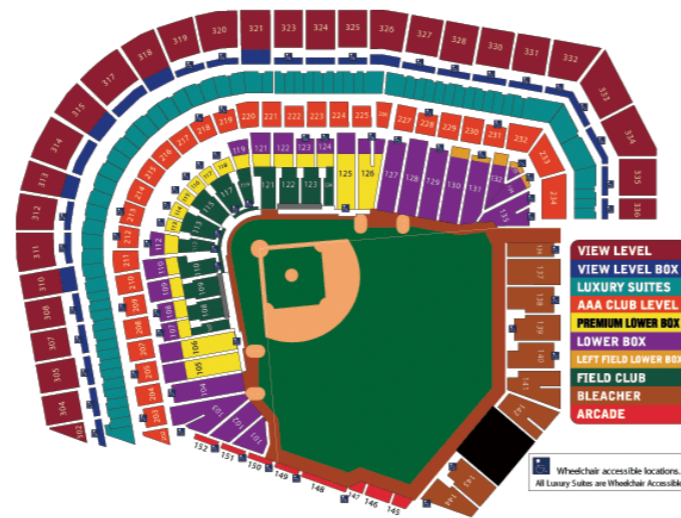


図2 ジャイアンツの車いす席配置状況(球団HPより)

(表5)。設置割合は1%を超えており、多くのエリアに車いす席があるので、選択肢が豊富である。

実際にいくつものスタジアム、アリーナを利用したが、車いす客がない場合は、スペースを一般にリリースし、パイプ椅子を置いて座って観戦する。階段歩行が苦手な体重の重い人、歩行器を利用する高齢者、ケガをしている人も車いす席を利用することが多い。

アメリカでは、全エリアに座席があるため、価格の優遇はないし、その必要がない(表6)。もちろん介助者も同じ料金である。良い席に座りたければ、お金を出せばよい。障害者も同じことである。券売に関しては、電話予約が残る場合もあるが、インターネットや窓口で簡単に買える。駐車場も割引料金は無いが、近い場所に広いスペースが確

保される配慮はある。

ニューヨーク・ヤンキースでは、69エリア、すべての価格帯に車いす席がある。介助者530席、490の車いすから移動できる座席もある。チケット価格の優遇もないため、一般座席と同じようにネット、窓口でのチケット販売であり、予約も簡単である。

### (4) 欧州サッカーの場合

最後に、欧州のサッカーである。近年、世界中に試合がテレビ放映され、ビジネスは活況を呈しているが、スタジアムのバリアフリー化は進んでいない。車いす席は日本と比較しても少ない。

表7のとおりスペインのレアル・マドリッドは、車いす席がない。FCバルセロナもゴール裏の1階最後列で天井が邪魔をする狭いスペースしかない。ドイツのバイエルンが使用するアリアンツ・アレナ('05年開場)、イタリアでは珍しくクラブが所有するユベントスの新スタジアム('11年開場)では、車いす席は複数エリアに多く設置されている(表8)。とはいえ、アメリカと比べると、そのバリアフリー基準は極めて低い。また座席数が多くなると無料招待がなくなっている。

欧州サッカーの車いす席で特徴的なのは、価格である。車いす席は無料である場合が多いが、座席数は少な

表7 欧州サッカー競技施設における車いす設置の状況

欧州サッカー	座席数	車いす席	割合
マンチェスターU	76,212	120	0.16
チェルシー	41,798	108	0.26
バイエルン・ミュンヘン	68,000	227	0.33
レアル・マドリッド	81,044	0	0.00
バルセロナ	99,354	10	0.01
ユベントス	41,000	150	0.37
ACミラン	80,018	176	0.22
パリサンジェルマン	48,527	40	0.08
平均			0.18

表8 欧州サッカー競技施設における車いす席の価格対比

欧州サッカー	車いす席の位置	価格	介助者
マンチェスターU	ゴール裏1カ所	無料	無料
チェルシー	3つの場所、見づらい	無料	無料
バイエルン	メイン、バック1階席後方	5ユーロ	無料
レアル・マドリッド	なし	なし	なし
バルセロナ	ゴール裏の最後列	不明	無料
ユベントス	メイン1階、2階、ゴール裏	半額	無料
ACミラン	バックスタンド最前列	無料	無料
パリサンジェルマン	バックスタンド最前列	無料	無料

い。そして車いす席は位置が悪い。また無料のため人気チームでは、車いす席の予約が困難な場合も多い。障害者に権利の平等を与えるのではなく、保護隔離の意識が強く慈善事業の意識が強い。

世界的に有名なマンチェスター・ユナイテッドの場合、無料といっても実際は会員になる必要がある(32ポンド)。120の車いす席は常に抽選で振り分けられる。英国バリアフリー法の指針によると、280席が必要とされているため足りていない。プレミアリーグの2万~4万人収容のスタジアムに車いす席は150以上、4万以上には210以上あるべきだと政府見解があるが、15%のクラブしか満たしていない。

## 4. 考察

車いす席を多く作ると、全体の収容人数が減ってしまう、収益が圧迫されるという恐れがあるのだろう。情報公開によるチケット購入のしやすさ、駐車場手配などのアクセス配慮がなければ、実際に設備があっても利用はしにくい。ソフトも整備しなければ実際の利用は増えていかない。広島カープや浦和レッズなど、座席数も利用者も多い例は見られる。ハードとソフト、双方が揃ったバリアフリーである。簡単に気軽にチケットが購入でき、アクセス保障として駐車場の確保があれば、車いす席も埋まる。

'02年日韓ワールドカップでは、車いす席が大量に作られたが、そのチケット券売システムがなかったため、車いす席はたくさんあるのに、そこに座る観客はおらずガラガラだった。建前だけのバリアフリーはもったいない。

車いす席が少ない場合、価格が低く設定されることが多く(時には無料)、一般席と同じように買えるようにしてしまうと不正利用が起き得るため、その予防として購入システムが複雑化する。情報も公開されない傾向があり、悪循環である。これは日本のホテル、車いす対応客室も当てはまる。

無料招待や介助者無料があっても構わないと思うが、お金を出してでも良い席に座りたい、確実に観戦したい人もいる。選択肢を増やすことが大切である。

アメリカのように障害者専用でなく、利用者がいない場合は一般にリリースする。階段歩行が苦手な高齢者や乳幼児連れなど、車いす席の利用対象の幅を広げることも方法である。そして価格優遇がなければ、不正利用は生まれないため、シンプルな券売システムが可能となる。

福祉視点ではなく、車いす席が多く作られ、気軽に多くの人が利用できることを願う。